

新時代への責任と決断

名取市議会議員

吉田 良の 名取市政ビジョン

第13号



ともに考えよう、 仙台名取合併構想

第8回ゲスト

仙台市議会議員(4期)
跡部 薫 氏



吉田 良

仙台生まれ。仙台南高等学校、東京音楽大学卒業。名取市立みどり台中学校など県内の中・高等学校に勤務。平成26年まで学習塾経営。

現在、名取市議会議員(2期)、総務消防常任委員会委員、名取市民合唱祭実行委員会顧問、混声合唱団せせらぎ指揮者、郷土史研究会会員など。

11月19日(日) 10:00 (吉田)がんセンターなど3病院を連携・統合する県の構想をどうお考えですか。

(跡部氏)医療の地域バランスを考えるのは県の役割となっています。それぞれの病院は地域に密着した運営を行っていますから、安心の医療を求める地域住民の声をしっかり受け止めてほしいと思います。

政令指定都市と県との役割分担については、様々な問題があると伺っています。

東日本大震災の発生時は、応急的な生活の救済などの権限が県に集中していました。仙台市は他の政令指定都市と連携して政府に要望し、災害救助法の改正が実現しました。その後、宮城県と協議した結果、仙台市は救助の主体となる「救助実施市」となりました。

大都市として独自に災害救助を行えるのは、大変心強いことだと思います。名取市も仙台都市圏にありますが、仙台市と合併することで政令指定都市となれば、今よりも権限が強化され、多くのメリットが生まれると考えられます。

たしかに政令指定都市には新しい権限が付与されてきていますが、税の配分割合は権限の量に比べて低い状態です。そこで指定都市市長会と指定都市議長会は、政府に対し、大都市財政の実態に即応する財源の拡充について強く要望しています。

地方分権改革の直近の動きとして、大阪都構想が2回目の住民投票でも否決されました。

指定都市市長会では、地方が行う事務の全てを一元的に担うために、新たな大都市制度「特別自治市」の創設についても議論されてきました。都構想が政令指定都市の廃止を目指したのに対し、特別自治市は県から政令指定都市を独立させるというイメージです。

仙台市では、定禅寺通での歩行者スペースの拡幅など、さらなる魅力づくりのための構想も市民の間で活発に議論されていますね。

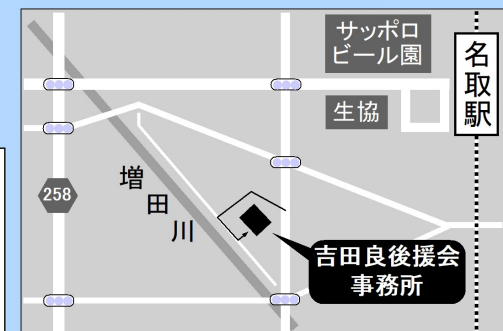
地元の方を中心に、仙台市役所も未来予想図を描くことに参加している状況です。定禅寺通はグリーンベルトが狭いという意見があり、車線を減らす案が出されています。過去に青葉通で車線を減らし、歩道を広げましたが、特に支障はないと捉えています。逆に広瀬通は車がよりスムーズに流れるようにと、めり張りのある整備を進めています。

高齢化への対応や特色あるまちづくりは、地方にとって大きな課題です。仙台がチャレンジしているように、名取でも歩行者に優しい地域デザインを進めていきたいと考えています。

地域の個性や名取らしさや大切にしつつ、合併構想への理解を広める努力に期待します。

名取から、地方分権と道州制移行の加速化を！ 吉田良後援会は会員を募集しています

- ◎ 事務所 〒981-1231 名取市手倉田字八幡165-32西
 - ◎ TEL 090-3368-1771 FAX 022-774-1771
 - ◎ ツイッター・ライン @ryoyoshida1771
 - ◎ ホームページ <http://www13.plala.or.jp/ryokoenkai>
- 後援会入会申し込みはQRから▶



令和3年1月7日 発行 討議資料



第2次防衛ライン開通式



サイクルスポーツセンター内覧会



夏の議員インターン受け入れ



宮城県護国神社 英霊奉謝祭

11月 地域の防災学習、共生社会について考える講座に参加しました。総防災訓練に出席しました。復興文化祭を鑑賞しました。資料館まわり、各公民館まわりを訪問しました。議員協議会にお

10月 市制施行記念式典、第2次防衛ライン開通式、名取市サイクルスポーツセンターグランドオープニングに出席しました。空き家対策セミナー、八幡南町内会共同清掃・花壇整備などに参加しました。

9月 議員協議会において、仙台空港の運用時間延長に係る騒音対策及び地域振興策(案)について説明を受けました。名取市サイクルスポーツセンター内覧会に出席しました。子どもたちの給食を有機食材にする全国集会にオンライン参加しました。共同清掃、KPM増田川清掃に参加しました。

7月 KPM増田川清掃などに参加しました。8月 八幡南町内会共同清掃、大手町1丁目町内会共同清掃などに参加しました。宮城県護国神社の英霊奉謝祭に参列し、鎮魂頌の独唱を献楽しました。

自分をももり、大切な人をまもり、地域と社会をまもるために、接触確認アプリをインストールしましょう。厚生労働省 新型コロナウイルス接触確認アプリ(略称・COCOA)は、利用者ご本人の同意を前提に、スマートフォンとの近接通信機能(Bluetooth)を利用して、お互いにかからないようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について、通知を受けることができるアプリです。利用者は、陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。利用者が増えることで、感染拡大の防止につながることを期待されます。 ※厚生労働省作成ポスターより抜粋

12月 議員協議会において、名取市国土強靱化地域計画(案)について説明を受けました。図書館まわりを訪問しました。日本農業と食を考える勉強会に参加しました。心の復興を願う閉上ミュージカルを鑑賞しました。



総合防災訓練



八幡南町内会花壇